

## 【著者インタビュー】クルマ愛に溢れる絵本「うちのくるま」

ひと 2018年07月06日

いいね! 6

G+

ツイート

印刷

### OFFICE M.N GARAGE代表税理士酒井将人氏に聞く

会社名: 轟轟社

自動車業界特化型税理士事務所OFFICE M.N GARAGEの代表税理士 酒井将人氏が手掛ける「乗り物絵本シリーズ」の第1弾企画作品『うちのくるま』が轟轟社より発売された。今回の企画の経緯について「全国の自動車ディーラーや中古車販売店のキッズスペースに並べたり、ショールームへの来店特典(販促品)として配布できるようなクルマ愛に溢れる絵本を作りたい」と語る著者の酒井将人氏に話を聞いた。(近藤厚志)

#### 【本書の内容・特徴は】

「お家の車の乗り換え」をテーマにした「車」と「少女」の物語です。基本的には子供向けの一般的な絵本となりますので、「色」や「形」そして「季節」の感覚を大切に制作しました。ただ、今の子供たちや、そのご家族の方にクルマを家族の一員として捉えて欲しいという想いを込めた内容となっておりますので、ぜひ大人の方も一緒に読んで頂きたいと思います。

#### 【本書の対象年齢は】

対象年齢は「1歳から6歳向け」と幅広く設定しており、1歳から3歳くらいのお子様には、ぜひお家の方が読み聞かせてあげてください。登場するクルマの「色」や「形」に連動して「動物」や「昆虫」などのアイテムも登場するので、きっと小さなお子様にお楽しみ頂けると思います。平仮名が読めるお子様には、ぜひ自分自身で読んで頂きたいです。文字は全て平仮名を使用しており、お子様がひとりでも読みやすいサイズを研究した結果、16cmの正方形の絵本となっております。お子様の年齢によって物語の捉え方もまた違ってきますので、1冊で2度3度楽しめる内容となっております。

#### 【自ら出版社を立ち上げた】

税理士として「税を通じて自動車業界を応援したい」という想いと全く同じ発想で、今回は「本を通じて自動車業界を応援したい」という想いから、車やバイクに関する書籍に特化した出版社「轟轟社」を立ち上げました。出版不況の今だからこそ、「採算が合わない」という理由で出版が見送られてきた自動車業界にまつわる「ニッチな本」を世に送り出すことが、私たち轟轟社の使命だと考えています。

#### 【自動車業界の未来は子供たちが握っている】

私たちが子供の頃は、周りの友だちは皆クルマが大好きでした。それは大人になった今も変わりません。今の子供たちにも、当たり前のように「ミニカー」で遊んで、当たり前のように「乗り物の絵本」を読んで欲しい。もっともっとクルマを好きになってもらいたい。そんな子供たちの日常が、自動車業界の未来に繋がっていくのだと考えています。この記事を読んで下さった自動車ディーラーや中古車販売店の方々には、「うちのくるま」をお客様の目に触れるところに置いて頂ければ大変嬉しく思います。自動車業界関係者の方には、出版社から直接卸しの方法で販売可能となっておりますので、ぜひ個別にお問い合わせください。

■著者: 酒井将人、秋林双葉 著

■仕様: 16cm×16cm／32頁

■出版社: 轟轟社

■発行: 平成30年6月23日

■定価: 900円(税別)

※7月13日頃の発売を予定



